

大館都市計画区域



ご確認ください

建築基準法等の一部を改正する法律の公布にともない、大館都市計画用途地域の第1種・第2種住居地域、近隣商業地域、工業地域、準工業地域における建ぺい率を都市計画決定します。これまでの建築基準法による制限値は変わりません。

確認できる期間（土曜日、日曜日、祝日を除く）

10月10日（木）～24日（木） 8時30分～17時

確認できる場所・市役所都市計画課

意見書の提出

変更案にご意見のあるかたは、意見書を文書で提出することができます。

提出期限・10月24日（木）

お問い合わせとご意見提出先は

〒017 8555 大館市字中城20番地

大館市役所建設部都市計画課 ☎49 3111（内線355）

ご意見をお聞かせください

県では、大館都市計画区域のうち「用途指定のない地域」の建築制限を変更する予定です。

変更する項目と数値

容積率400%から200%へ

他の項目に変更はありません。

この指定案へのご意見をお寄せください。

お問い合わせとご意見提出先は

〒017 8555 大館市字中城20番地

大館市役所建設部都市計画課 ☎49 3111（内線355）

Eメールアドレス info@city.odate.akita.jp

または

〒010 8570 秋田市山王4丁目1番1号

秋田県建設交通部建築住宅課 ☎018 860 2565

Eメールアドレス kysidou@pref.akita.jp



交流を深めます

佐竹氏入部400年

市長リポート

No. 241

城南小学校周辺に「部垂町」があります。平成9年、部垂町に住む小学生が町名の由来に関心を持ち、茨城県大宮町を訪れたことがきっかけで本市と大宮町との交流が始まりました。この交流は年々盛んになり、今年も城南小学校の5年生40人が大宮町を訪れたのを始め、大館市文化財保護協会による訪問・研修が行われています。

今から400年前の慶長7年（1602年）、常陸国を支配していた佐竹氏が秋田に国替えとなりました。初代大館城代となる小場氏（佐竹西家）も、先祖代々大宮町を本拠地としていましたが、佐竹氏とともに秋田へと移ってきました。はるばる大宮町から大館へ来られた方々の「望郷の念」は非常に強いものであったろうと察します。

去る8月27日、私が大宮町を訪れたときには、大館の地名や神社仏閣のルーツがあることに驚かされました。大宮町には「部垂城跡」があり、近くの御前山村には「長倉城跡」がありました。また、大宮町の小場城跡周辺には「宗福寺」「遍照院」「一心院」「八幡神社」の跡地がありました。

国替えとなり、二度と故郷の地を踏むことができなかつた佐竹武士団の心情を考えれば、なじみの城の名前をせめて町名にした、ということも想像でき、「部垂」や「長倉」の町名は、まさに城の名前だったという歴史の重みを感じることが出来ます。大宮町との交流を深めていくに従って、地名の由来やご先祖様の発祥の地などがどんどん判明してくるのではないのでしょうか。

現在、郷土博物館では大館佐竹家文物展として、大館に関わる貴重な史・資料を展示しています。今を生きる私どもが、ご先祖様に思いをはせることができます。またとない機会です。佐竹氏入部400年という節目を契機に、大宮町との歴史的な繋がりを大事にし、さらに発展させていきたいと思えます。

小畑 元